研究Ⅰ　授業公開・研究会

藤島高校は SSH の取り組みとして、教科「研究」の授業を行っています。１年生が「ミニ課題研究」「データ分析」「問いを深める」の３つの講座に分かれ、「研究力」の基礎スキルを身に付けています。そして、その様子を zoom で県内外高校教員、大学の先生に公開し、授業研究会も実施しました。

１　日　時　令和２年１１月１２日（木）６、７限目
　　授業公開：　１３：４５～１５：２５
　　授業研究会：１３：３５～１６：２０

２　概　要

（１）授業公開

ミニ課題研究
「紙コップの不思議」
　日常生活で起こる現象から問いを見いだし、生徒が自由な活動の中で仮説を立て、検証する方法を考え、実験して情報を整理・分析します。課題研究における課題設定、情報収集、整理・分析を一連の流れとして体験する活動を行います。

データの分析
「そのデータは信頼できますか？」
　そのデータは根拠として十分信頼できますか？　その分析と考察は結びついていますか？　各分析の特徴をみていきます。
「統計のウソとホント」
　世の中に出回っている数字やデータについて、人間が陥りやすいバイアスや信憑性を読み解く視点などを基礎的な統計学をもとに学びます。

問いを深める
「福井が抱える課題を振り返って」
　１学期に実施したプレゼンテーションを振り返り、研究を進めるにあたって研究全体を見渡しながら問いを立てることの重要性とその視点を整理し、クラス全体で共有します。

（２）授業研究会

　本校の教科「研究」における１学年の授業について、カリキュラムを説明し、公開した授業について、参観者からご意見をいただきました。
　また、他校の実践報告を交えながら、生徒にテーマ設定能力や探究のスキルを身につけさせるための方策について話し合いました。
　最後には株式会社グランディア芳泉 山口 賢司 代表取締役専務、福井大学 淺原 雅浩 教授からご助言をいただきました。